

オリエンタル系ユリの球根肥大状況について(1月5日現在)

平成30年1月10日
 経営普及課
 (農業革新支援担当)

新潟県農業総合研究所園芸研究センター、中山間地農業技術センター、高冷地農業技術センターにおけるオリエンタル系ユリ球根定期観測結果から、今年の球根肥大及びノーズ形成状況についてご紹介します。

1 供試球根

- (1) 調査品種 カサブランカ (オランダ産TYS球根)
 (2) 球根サイズ及び前年・平年値との比較 (平年値は2007～2016年の平均)

| 年度 | 球根 サイズ | 球根重 (g) | 球周 (cm) | りん片 (枚数) | 葉数 (枚) |
|------|-----------|------------|------------|-------------|-----------|
| 2017 | 14/16 | 45.4 | 15.3 | 25.8 | 37.5 |
| 2016 | 14/16 | 47.3 | 16.2 | 25.7 | 35.8 |
| 平年値 | 14/16 | 48.0 | 15.5 | 25.6 | 39.3 |

※各センターとも同一ロットの球根を供試し、園芸研究センターで調査した。

2 耕種概要

| 観測場所 (所在地) | | 園芸研究センター (聖籠町) | 中山間地農業技術セ ンター(長岡市川口) | 高冷地農業技術セ ンター(津南町) |
|---|-------------|-------------------|--------------------------------|------------------------------------|
| 栽植距離 | | 20×20cm、4条植 | 20×20cm、4条植 | 20×20cm、5条植 |
| 定植日(前年度) | | 4月3日(4/1) | 5月2日(4/19) | 5月2日(4/27) |
| N-P ₂ O ₅ -K ₂ O (kg/10a) | 施肥 基肥 | 15-15-15(3/30) | 10-10-10(4/10) | 19-15-19(4/28) |
| | 追肥 (実施日) | 5- 5- 4(6/2) | 5- 5- 4(6/15) 7- 7- 8(7/24) | 3-4.2-3.6(6/26) 3-4.2-3.6(7/18) |

3 生育・葉分化等の状況

- (1) 各センターとも5～6月の少雨により生育が一時停滞し、茎長は前年を下回った。
 (2) 開花盛期は、前年に比べて定植が遅かったことや6月の低温の影響を受け、各センターとも前年より10日前後遅かった。
 (3) 各センターとも気温の低下とともに茎葉の黄化が進み、園芸研究センターでは11月1日(前年比+5日)に、中山間地農業技術センターでは11月6日(前年比+5日)に、高冷地農業技術センターでは11月13日(前年比+13日)に球根を掘り取った。
 (4) 球根肥大は、各センターとも肥大の良かった前年と比べて劣っており、平年比では、園芸研究センターはやや不良、中山間地農業技術センターは不良、高冷地農業技術センターはやや良と見られる。
 (5) 各センターともノーズの伸長及び葉分化はほぼ停止したものである。葉分化数は、園芸研究センター及び高冷地農業技術センターではほぼ平年並、中山間地農業技術センターではほぼ前年並である。
 (6) 耐凍性の指標となる茎軸のBrix値は、各センターともほぼ平年並に上昇している。

4 具体的データ

添付ファイル「L20180105data」及び図1～図6を参照。

※ 次回の生育情報は、平成30年1月19日調査のユリの球根肥大及びノーズ形成状況(第10報)をお知らせする予定です。



図1 園芸研究センターにおける球根の肥大状況 (左：球根全体、右：新球)

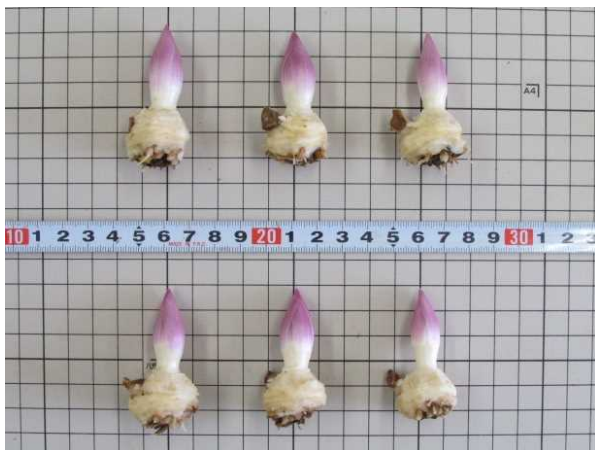


図2 園芸研究センターにおけるノーズの発達状況

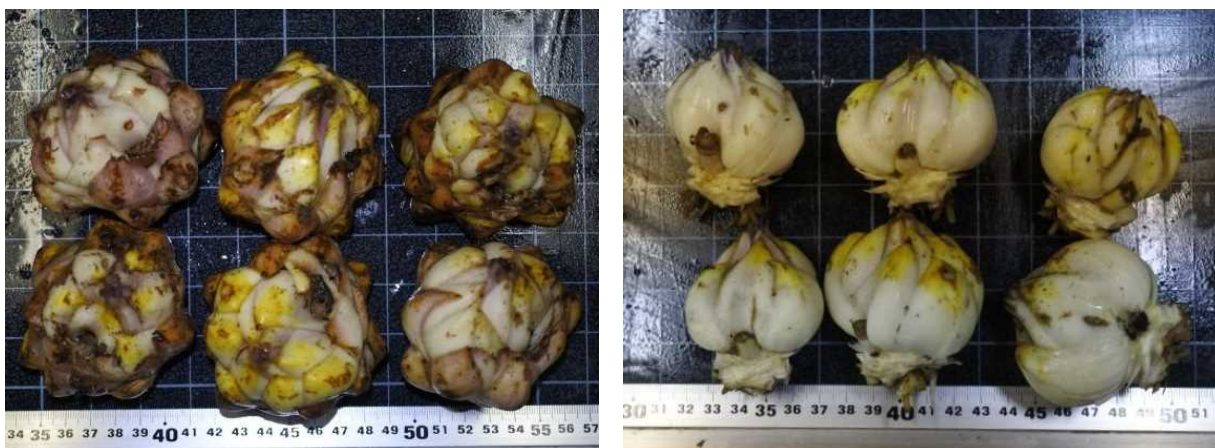


図3 中山間地農業技術センターにおける球根の肥大状況 (左：球根全体、右：新球)



図4 中山間地農業技術センターにおけるノーズの発達状況



図5 高冷地農業技術センターにおける球根の肥大状況（左：球根全体、右：新球）



図6 高冷地農業技術センターにおけるノーズの発達状況